



編集・発行／日本共産党伊勢崎市議団 〒372-0032 伊勢崎市北千木町 2087 TEL25-4854/fax24-8204
ホームページ www.icp-isesaki.net/ メールアドレス sigidan@icp-isesaki.net

有料化で浮いた1億7千万円を移動支援へ

6月定例会が6月14日から28日まで開かれました。北島元雄市議が運転免許返納後の移動支援など一般質問、長谷田公子市議が市公料金への消費税引き上げ転嫁について質疑しました。

バス有料化で経費削減

昨年4月からコミュニティバスが有料化されました。これは高速道バス事故を受けて、無料だと観光バス扱いになって委託料が上がるため、路線バスにして費用の削減を図る事が目的です。

路線バスにしたため、委託料が1億6844万円減額されました。そのうえ運賃収入が896万円入り、合わせて1億7740万円もコミュニティバスへの市負担は削減されました。

運転免許自主返納急増

高齢者運転の、前橋の高校生や池袋の母子死亡事故を受けて、高齢者の運転免許証の自主返納が割も増えました。しかし免許を返してしまえば病院や買い物に行くにも即困ってしまいま

す。伊勢崎市地域公共交通会議でコミュニティバスの路線変更など検討していますが、バスが通らない地域も多くこれだけでは対応しきれません。

電話で予約し近くまで来てくれるデマンド交通の創設や、タクシー券を前橋並み(高齢者は運転している人でも120枚配布)にするなど総合的な公共交通対策が必要です。

浮いた予算1億7千万円は公共交通対策に活用を

コミュニティバスバス有料化で浮いたお金を振り向ければ、これらの施策を実現できます。すでに他市では様々な対策が始められています。運転免許を返しても暮らしていけるまち作りを求めました。市長からは福祉的施策も含め交通対策の充実を検討すると答弁がありました。声を大きく広げて早期に実現させましょう。免許を返納者に発行される「運転免許経歴書」に対し、要望していた市の補助が出るようになりました。

運転する人のいない世帯には「高齢者タクシー券」が発行されることを、返納時に教えてくれれば、すぐ申請できたのにとの苦情がでており改善を求めました。

※デマンド交通とは

利用者の事前予約に応じる形で運行経路や運行スケジュールをそれに合わせて運行する地域公共交通。電話で予約して家の近くまで迎えに来る、乗り合いのタクシーやバス。

74年目の夏

核兵器廃絶を求め行進

北海道礼文島から東京まで歩いて核兵器廃絶を訴える「国民平和台行進」は、7月14日伊勢崎市役所で新井議長らの激励を受け出発、桐生まで行進しました。

